

## サービス

### ■食堂 (管理棟1階)

平日 朝食 7:30 ~ 10:30  
 昼・夕食 11:00 ~ 20:00  
 (ラストオーダー 19:30)  
 土日祝 昼食 11:00 ~ 15:00  
 夕食 16:00 ~ 18:30  
 (ラストオーダー 18:00)



### ■コンビニエンスストア (管理棟1階)

8:00 ~ 21:00



### ■コーヒーショップ (本館1階)

平日 7:30 ~ 19:00  
 土日祝 10:00 ~ 17:00



神奈川県立  
 ども医療センター

# こども 医療通信



## こどもの 入場無料 健康セミナー開催!

- 1 「自閉症児の偏食と対応」
- 2 「こだわりのある子どもたちの栄養相談でみえたこと」



日時 令和元年7月13日(土)  
 午後2時から午後4時まで(受付:午後1時30分~)

会場 かながわ県民センター

定員  
 200名

- 1 「偏食の子の接し方」
- 2 「健康な歯から子育てををする」



日時 令和元年11月16日(土)  
 午後2時から午後4時まで(受付:午後1時30分~)

会場 かながわ県民センター

予定

詳しくは <http://kcmc.kanagawa-pho.jp/> をご確認ください



## ～ 増加するこどものアレルギー に対して今やっておきたいこと ～

こども医療センターでは年4回一般の方に向けて、こどもの病気について分かりやすく説明する『こどもの健康セミナー』を開催しています。このページでは、12月・1月に開催されたセミナーの内容を抜粋してご紹介し

ます!! また、今後の開催予定は **こども医療 健康セミナー** 検索



アレルギー科医師 犬尾 千聡

近年、子供のアレルギーが増えています。学校では、食物アレルギー、アレルギー性結膜炎、アレルギー性鼻炎の子供の割合が10年前と比べて増加しています。

食物アレルギーは近年考え方が大きく転換した領域です。以前は食物アレルギーが湿疹などの皮膚症状の原因であると考えられていました。乳児期に湿疹があると血液検査を行い、血液が反応する食物(特異的 IgE 陽性)を一切食べないという方法をとっていました。確かに、湿疹のある乳児の血液検査をすると多くの食物に対して反応がでていますし、実際に食べると蕁麻疹や咳など全身性アレルギー症状が起こる子供もいます。

しかし、食物に血液が反応していたとしても、食べても症状が出ない子供も多いのです。また、3、4歳までに湿疹などの皮膚症状が消失した子供たちの中に、その後も食物を食べたアレルギー症状が誘発される子供が結構いるのです。食物が湿疹の原因であるなら、食物アレルギーが治っていないとすると、湿疹も治らないはずす。

近年、皮膚感作という考え方が提唱され、食物のアレルギー発症のメカニズムが説明できるようになってきました。皮膚は外界から身体を守るバリアです。皮膚感作はそのバリアが壊れてしまうと、身体の外のアレルゲン(アレルギーを起こす物質)に反応してしまい、アレルギー体質に変貌してしまうという考え方です。つまり、皮膚が悪いために食物に反応するようになってしまうのです。食べることでアレルギーが悪くなっていくと思われていましたが、少しずつ食べることでアレルギーが治っていくこともわかってきました。これを経口免疫寛容と言います。ただし、アレルゲンを摂取していくことは、アレルギー症状を誘発される危険性もあり、容易に自己判断で行うべきではないとされています。

アレルギー



湿疹

一旦、食物アレルギーになると大変です。そこでアレルギーにならないようにする食物のアレルギーの発症予防ということが注目されています。アレルギーにならないためには、以前は「なるべく卵を食べるのは1歳過ぎてから」などとアレルギーの原因になる食物はなるべく遅くから食べた方がよいと思われていました。しかし、アトピー性皮膚炎のある子供達が早くから少しずつ食べることでピーナッツや卵に対するアレルギーになりにくいという報告が出てきております。血液検査で反応があったとしても、症状が出ないレベルで少しずつ食べることでそのアレルギーの発症予防ができると考えられています。

食物アレルギーが近年注目を浴びていますが、実際に患者さんが多いのがアレルギー性結膜炎、アレルギー性鼻炎です。アレルゲンに触れないようにするアレルゲン回避のため、マスクをしたり掃除をしたりという対応をこれまで行ってきました。しかし、実際にはあまり症状が抑えられず、薬で症状を抑えていくこととなります。しかし、薬による治療では根本的に治癒を目指すことが出来ません。体質自体をアレルギーに対して強くしていく皮下注射アレルゲン免疫療法という治療が専門施設で行われてきました。多くの子供たちがこの治療により症状が劇的に改善していきます。しかし、この治療は注射の痛みやまれに全身症状を誘発してしまうことがあるという欠点がありました。数年前より痛みや副作用のない舌下免疫療法というものも日本でも治療可能になっています。毎日舌下にタブレットを置き、1分間たって飲み込むだけという簡単な手法でダニやスギに対するアレルギー症状が改善していきます。さらに、このアレルゲン免疫療法により、その後の気管支喘息やアレルギー性鼻炎などの新たなアレルギー症状を抑制できる報告ができています。

少しずつアレルギー物質を体内に入れながら、アレルギーを治療・予防していくことが可能となってきています。アレルギー科に相談していただければお子様それぞれにあった対応方法を提供することができます。

# ～ 冬の乾燥に向けた「皮膚ケア」～

看護師 田阪 祐子

皮膚は、人の身体の全体を覆っています。大人の皮膚は、面積が畳1枚分ほどもある人体最大の臓器です。皮膚は、さまざまな刺激から身体の中を守ってくれています。皮膚の健康を保つことは、心身の健康を保つことにもつながります。ここでは、皮膚のはたらきやケアの方法、日常生活で気を付けたいことについてお伝えします。

## 皮膚のはたらき

皮膚のはたらきには、皮膚の水分を失わないように保護するバリア機能や、体温を調節したり、痛みなどを感じる知覚作用、アレルギー反応等にかかわる免疫機能などがあります。私たちの体を覆っている皮膚は、季節を感じたり、外からの刺激や細菌などから守ってくれますが、気温が低くなる冬の時期になると肌が乾燥しやすくなります。肌が乾燥すると不快な症状として「かゆみ」が出てきます。この肌の乾燥が元となるかゆみは、セラミドや脂質の働きが十分に機能せずに、皮膚から水分が蒸発してしまうことで、細胞に隙間ができてしまうために起こります。乾燥している皮膚や掻きこわしのある皮膚は、外からの刺激が簡単に入ってきてしまうので、炎症が起きて、かゆみや湿疹がでてきてしまいます(図1)。そこで、外から刺激が入ってこないように、皮脂膜でバリア機能を保つことが大切です。

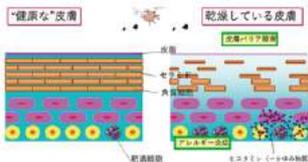


図1. 健康な皮膚と乾燥している皮膚について

## スキンケアの方法

外からの刺激が入ってこないようにバリア機能を保つためには、スキンケアが大切です。それは、身体を洗うことと保湿剤を塗ることです。感染から防ぐことや、汗や皮脂の汚れ、皮膚についたアレルギーを洗うことで、皮膚を清潔に保ちます。そして、保湿剤を塗ることで、バリア機能を保ち、乾燥を防いだり、かゆみの予防につながるのです。こうして、バリア機能が回復・維持されます。

洗い方には、3つのポイントがあります。それは、泡をたてる、しわをのぼす、手で洗うことです。泡は、皮膚についた汚れや、細かい凹凸のある皮膚の汚れも吸着してくれるので、



図2. 石鹸で作ったモコモコ泡 図3. 手のひらを逆さにしても垂れない泡

きめ細かな泡を作って洗います(図2・図3)。関節やくびれの部分は、汗や汚れがたまりやすいので、しわを伸ばして洗います。

次に、保湿剤を塗ることについてです。塗り方には3つのポイントがあります。それは、お風呂から上がった後、すぐに塗ること、適切な量を使うこと、しわを伸ばしてぬることです。体を洗ってタオルで拭いた後は、皮膚の乾燥を防ぐために、できるだけ早めに塗りましょう。適切な軟膏量は、1FTU(大人の人差し指の先から第1関節までの軟膏の量が、大人の両手のひら分の面積に塗る量)を刷り込まずにのせるように塗るとよいでしょう。関節やくびれの部分は、洗い方と同じように、しわを伸ばして塗ります。

## 日常生活で気を付けたいこと

赤ちゃんは、よだれの刺激で、口の周りの湿疹がなかなか治らない場合があります。このような時は、食事の前に保湿剤を塗っておくことで、皮膚が保護されてよだれや食べ物で直接刺激になることを防ぐことができます。食事が終わったら、口の周りを清潔にしましょう。

汗をたくさんかいたり、皮膚がよれて帰宅したときは、できるだけ早めにスキンケアを行うことをお勧めします。

皮膚が乾燥して保湿剤でコントロールできている場合は大丈夫ですが、皮膚に赤みやかゆみがあり、よくなる場合は、皮膚が炎症を起こしている状況なので、医療機関を受診することをお勧めします。



## ～ 児童精神科で使う お薬の話 (総論) ～



児童思春期精神科医師 新井 卓

子どもにみられる様々な精神的症状の背景には生れながらの特性や素因、発達早期の環境因、そしてその後の家庭環境や学校環境などの社会的環境が大きく関与しています。生れながらの特性にはいわゆる“発達障害”と言われるような診断名がつくものからその傾向や個々の精神疾患へのなりやすさともいえる疾患の素因なども含まれます。さまざまな個性や特性をもって生まれた子どもは養育者から育てられるわけですが発達早期の環境因は特にその後の人格形成上重要とされ、基本的安心感や愛着形成に重要であることは皆さんもご存知の通りです。その後家庭内、学校、さらには様々な社会的環境のなかでストレスへの対処法、忍耐力やがんばる力を身につけていくわけですが、成長していく過程で子どもは自分だけでは解決が難しいような強いストレスにさらされることも少なからずあります。その際に情緒や行動上の問題あるいは身体的症状が出現します。こうした症状の出方や内容に、上に示した様々な要因が関与しているといえるわけです。そして、これらの症状が大人に気づかれなかったり、その原因を見極めることなく我慢をさせられたりすることが続く中で悪循環的に症状がエスカレートした結果、私たちのもとに受診となる子どもは少なくありません。児童精神科という診療の場での関わりはこの悪循環を緩和し、その子どもが本来持っている健康的側面を取り戻すお手伝いであるともいえます。その治療は環境の調整から子ども自身への関わりまで多岐に亘りますが、その1つがお薬の投与というわけです。

児童精神科領域でのお薬の治療は疾患の原因治療ではなく、あくまで対症療法です。本人の苦痛や症状の軽減が中心となる目的ですが、断続的に出現する興奮状態や行動上の症状に対しては、お薬の投与により症状が緩和され人間関係の悪循環が減ったり、周囲の大人が関わりやすくなることで、本人に対するプラスの評価をする機会が増えることなども重要な効果といえます。この点はお薬の治療が中心的役割を持つ精神病的障害の比率が高い成人領域

との考え方の違いといえるでしょう。

精神科で使われるお薬には様々な種類がありますが、現在児童精神科領域でその使用が認められているのは注意欠如多動症 (ADHD) の諸症状 (多動、不注意や衝動性) に対して3種類、自閉スペクトラム症の易刺激性 (周囲の刺激や関わりに対して興奮やパニックとなる傾向) が亢進した状態に対して2種類、および子どもの強迫性障害 (特定のことを繰り返したり、考えてしまう状態) に対して1種類です。これらのお薬は子どもへの効果と安全性を確認するための臨床試験を行い、厚生労働省からその投与を認められたお薬です。海外ではこの6種類以外でも子どもの統合失調症、うつ病、双極性障害、および慢性のチック症であるトゥレット症候群など広くお薬の投与が認められている現状があります。

お薬の投与でどうしても気になるのが副作用の問題です。すべてのお薬には何らかの副作用報告がされていますが、その中にはそのお薬との因果関係が明確なものから不明確なものまであります。また、因果関係があると思われる副作用の中でもすぐに中止した方が良いものからしばらく様子を見て良いものまであります。養育者や周囲の大人側の判断だけでなく内服している子ども本人の意思確認をしながら、リスクとベネフィットを検討した上でその投与を決めていくことが重要です。

なお、子どもの心の問題の考え方や治療、あるいは児童精神科で使われるお薬について、当センターで開催した専門職対象のセミナーの詳細を当センターホームページでご参照いただくことができます。

神奈川県立こども医療センター HP:<http://kcmc.kanagawa-pho.jp/>  
「診療科・局・施設のご案内」→「児童思春期精神科」→「児童思春期精神科  
セミナーこども医療センター医学誌別刷」



## ～ 児童精神科で使う お薬の話(各論) ～



児童思春期精神科医師 豊原 公司

児童精神科の臨床を行っているとき**注意欠如多動症**や**自閉スペクトラム症**に対して薬は使えないですかと保護者から相談されることが多いです。一方「薬を飲まなきゃいけないんですか?」「薬なしでは治せないのですか?」「薬さえ飲めば治るのですか?」など質問されます。こういった質問に普段どうお答えしているか、また処方するにあたってどういった点に気を付けているかを踏まえて薬物療法について説明します。

### 注意欠如多動症

幼少期から多動、衝動、不注意を有します。症状の程度は人によって様々ですが、就学以降、授業中の落ち着きのなさ、忘れ物の多さ、けんか等で悩み、家族と受診する事が多いです。学校でのトラブルも多いので、教師に勤められて受診することもあり、家族自身障害を受け止められないことが多いです。こういった際は、ご家族の考えをよく聞き、何かお手伝いできないか考えます。一方的に障害であると告知して薬を処方することは建設的ではありません。障害の理解が進む中で薬物療法を含む対応を相談していくことになります。診断がついたら「薬を飲ませなければならぬのですか?」という質問も多いです。その際は悪循環というキーワードを基に説明します。

例えば学校でのトラブルから、友達に嫌われ、イライラしてまた暴力に及んでしまうなどの悪循環がある場合は積極的に薬の使用をすすめます。小学校低学年の間は家族の治療へのノードが強い場合が多いのですが、高学年、中学生年齢になると自ら障害に悩むこともあります。こういった際は、本人の自己理解がより大事になります。薬の使用に関わらず、本人の自己理解、障害受容に付き合うことがこの時期大切になります。薬を使用するならば自分自身にどういった特性があり薬は何のために飲むのかを本人とじっくり考えることが必要になります。子どもが「ダメな自分が親に言われて仕方なく飲む」と認知している場合は、薬を出すことそのものがこの否定的な考えを強化させる危険性ははらみます。どうしてそういう認知になったの

と一緒に考えていく姿勢が治療者には必要です。こういった苦悩の時期をへて、子ども自身が自分の特性を理解し自身を受け入れていくことになります。そこまで伴走することが私たちの仕事と思っています。

### 自閉スペクトラム症

幼少期からのコミュニケーションの障害、興味の偏りが主体です。対人コミュニケーションが困難で、本人ないしは周囲が悩み受診に至る経緯が多いです。ただ残念ながら自閉スペクトラム症の場合、効果的な症状は限られています。障害に特徴的な、コミュニケーションの障害、興味の偏り、こだわりなどには直接的に薬は効かないです。自閉スペクトラム症の子どもは刺激に弱く、興奮しやすく時に暴力、パニックに至るケースもあります。イメージしていたことが予定通りにいかなかった時に混乱して興奮することも多いです。薬はこういった状態に対しては効果が見込めます。具体的には学校で対人コミュニケーションが上手くいかずに興奮し暴力に至るケース、家でイメージ通りことが進まずイライラして興奮、暴力、自傷に至るケースです。

こういった際も悪循環をなくす目的で処方します。これまでの話を家族が十分理解した上での処方が大事になります。家人が薬物療法の意図、効果のある症状を理解せず、学校の勤めが強いためにあまり納得してない状況で内服すると、効果そのものが出にくかったり、効果が出ても副作用ばかりに目が行き薬への抵抗が強まることもあります。逆に家族がしっかり理解して納得した上での投与はより効果的になることがあります。周囲の大人の心理状況が本人の症状に影響をしていくことによると思われます。そのため自閉スペクトラム症に限らず、われわれ児童精神科領域で薬を使用する場合は、家族、本人の障害、薬への理解が非常に大切になります。そのためには家族、本人の障害の受け入れが大事になります。障害の受容が不十分なままでの医師からの一方的な説明は意味をなさないことが多いです。家族、本人の障害の受容につきあい、正しい情報を誠実に提供することが私たちの仕事であり、その一部に薬物療法があると考えています。

## サンタの病棟訪問



12月12日(水)に認定NPO法人「難病の子ども支援全国ネットワーク」によるサンタの病棟訪問が行われました。

各病棟をサンタさんが訪問し、子どもたちはサンタさんからプレゼントをもらって大喜びでした。



## 馬とふれあう会

5月16日(木)、認定NPO法人「馬とふれあう会」(横浜市青葉区)にご協力いただき、今回も当センターに入院・通院するたくさんの子どもたちが乗馬体験や餌やり体験をしました。他にも馬に触れてみたり、一緒に写真を撮ったり楽しい様子でした。

次回の開催は今秋を予定しております。ぜひご参加ください。



## オレンジクラブチャリティーバザー

5月20日(月)にこども医療センターの体育館にて、ボランティアグループ「オレンジクラブ」のチャリティーバザーが開催されました。

オレンジクラブで手作りしたつるし雛や、地域の皆様にご協力をいただいたバザー用品で、体育館はたくさんの方で賑わっていました。



また、バザーの他に、盲導犬とのふれあいや、カリ先生とのフラダンスのイベントも行われました。



バザーは毎年2回開催され、売り上げは入院・通院中の子どもたちのための絵本やDVD、おもちゃ等の購入に充てられます。

次回もぜひご参加ください!



## 「病院ボランティア」のご案内

当センターのボランティア・グループ「オレンジクラブ」には、300人以上の方々がボランティアとして登録され、個人と団体による30のグループがさまざまな活動を行っています。

「ひとの役に立ちたい」と他者を支えるための活動を通して、「実は支えられている」「子どもたちの笑顔やご家族のありがたこの言葉に元気や勇気もらっています」との感想を持つ方が多くいらっしゃいます。

無償の奉仕を根気強く続けてくださる方々の活動は外部からも高い評価を受けています。

診断・治療を受けることもたちとご家族の支援のため、あなたの力を貸してください。

イラスト\*ヨシタケ シンスケさん



### ■申し込みから実際の活動までの流れ

- ①説明会又は研修会への参加
- ②ボランティア・コーディネーターによる面接（活動の希望等について伺います。）
- ③申込書の提出

ボランティア活動に少しでも関心がありましたら、どうぞ遠慮なく、下記へご連絡ください。

神奈川県立子ども医療センター 総務課

電話：045-711-2351（内線2212）

e-mail：kcmcvolunteer@kanagawa-pho.jp

### \* ボランティア研修会

ボランティアご希望の方を対象に  
年3回（3月、5月、10月）開催

### \* チャリティーバザー&イベント

年2回（5月、12月）開催

どなたでも  
参加可能

## 「オレンジクラブ」の活動

「オレンジクラブ」の活動のいくつかを紹介します。

### 外来

通院の子どもたちとご家族をサポートします。受診のお手伝い、ご案内、短時間のお子様のお預かりなどが主な仕事です。折り紙の指輪や腕時計のご褒美はお子様方がとても楽しみにしています。

### きょうだいお預かり

週3回、月・水・金曜日に本館5階家族待合コーナーで、入院患者さんのごきょうだいをお預かりしています。きょうだい児が楽しく遊べるように活動しています。活動して下さる方を募集しています。皆様のお力をお待ちしています。



### 患者図書室

患者図書室で病気に関する書物の閲覧やパソコンによる情報収集・本の貸し出しのお手伝いをしています。また、机があり、宿題などができます。



### 季節飾り

お正月、お雛様、こいのぼり、七夕、クリスマスなど、季節感の感じられる飾りを院内に飾ります。



ピアサポーターは、病気や障害のある子どもを育てた経験のある保護者が、同じ問題に直面している家庭に寄り添い、心のささえや小さな相談にも手が届くサポート活動をしています。

子ども医療センターでのご相談は『毎週火～金 am10:00～pm3:00』

本館1階患者図書室カウンターで受付けています。

<事前予約不要 祝日・年末年始休み>

電話番号 045-711-2351 内線 3192

# セクション紹介

## 第12回 「看護教育科」 を紹介します。

### 看護教育科ってどんなところ？

- 教育と実践が統合できるように、看護師個々のキャリア開発を支援するのが大きな役割です。
- 研修の企画・運営などを通して看護師の継続教育を支援しています。
- 看護学生をはじめとした実習の調整や指導をしています。
- 会議へ参加したり、講演会の開催や研究支援など、看護の質が維持・向上されるよう看護師を支援しています。
- 病院見学会やインターンシップ、育児休暇・産休中のママの会など、人材確保と定着のための活動をしています。

### 看護教育科にはどんな人が働いているの？

- 副看護局長兼教育科看護科長（1名）と主任看護師（4名）の計5名の部署です。



### 研修の様子

4月は新採用看護職員を対象に採用時研修を行いました。看護師としての基本的技術を確認して、それぞれのセクションに配属されます。



### ママさん会の様子

産休中・育児中の職員を対象に、ママさん会を開催しています。ワークライフバランスを保ちながら、イキイキと働き続けられるように支援しています。



# 病棟・施設配置図

## 本館

### 管理棟

図書室  
パソコン教室  
医療情報管理室

看護教育科  
医局  
感染制御室  
医療安全推進室  
治験管理室

臨床研究所  
病理検査室

経済課  
経営企画課  
食堂  
コンビニ

管理

体育館

711→病棟

5南病棟 (乳幼児内科)

5西病棟 (幼児・学童内科系)

4東病棟 (幼児・学童外科系)

4南病棟 (乳幼児外科系)

4西病棟 (学童・思春期外科・内科系)

Hcu2

Hcu1

ICU

看護事務室  
講堂

外科系外来

一般検査室  
生理検査室

薬局

会計 医事課  
地域連携・家族支援部

救急外来  
内科・外科系外来

栄養管理科

放射線診断・治療  
ME・IT室

重症心身障害児施設

### 同階別棟

中央手術室

母性・NICU病棟

新生児・NICU病棟

### 施設・クリニック棟

3階学療教室  
作業療法室  
言語聴覚室  
横浜南看護学校

肢体不自由児施設  
横浜南看護学校

### こころの診療棟

こころの言語病棟

児童発達科精神科外来  
横浜南看護学校

臨床心理科  
WISA PF 100  
IA

平成 30 年 3 月 24 日改正

### ■京浜急行「弘明寺駅」より

(徒歩3分) → バス停「弘明寺口」乗車 (所要時間 約10分)

- 「井10」系統・「こども医療センター」行き

時	平 日	土 曜	休 日
6	44	54	56
7	09 37	37	39
8	02 27 52	27	22
9	17 41	16 59	10 49
10	26	40	41
11	11 55	24	29
12	41	10 55	14 56
13	25	40	44
14	11 55	29	29
15	41	11 59	15 56
16	25	46	45
17	11 59	33	31
18	31 52	16 55	14

- 「東01」系統・「東戸塚駅東口」行き

時	平 日	土 曜	休 日
6	28 49	55	55
7	06 20 35 48	16 49	16 47
8	13 25 38 51	06 31 55	06 31 55
9	21 28 42	13 41	40
10	10 48	06 24	04 35
11	27 38	06 37	05 31
12	08 23 48 58	06 29	05 39
13	28 40	05 35	05 33
14	08 48	10 37	10 37
15	03 47	07 44	08 45
16	07 20 50	09 40	12 38
17	20 49	08 43	05 44
18	13 23 34	07 43	05 45

- 「横44」系統・「戸塚駅東口」行き / 「戸45」系統・「戸塚駅東口」行き

時	平 日	土 曜	休 日
6			
7			
8	05 41	29	27
9	16 46	33	31
10	20 50	37	33
11	17 47	40	38
12	17 47	40	38
13	17 47	40	38
14	17 51	42	40
15	15 58	34	32
16	17 53	32	30
17	17 53	32	30
18	17 53	32	30

- JR「横浜駅」東口より (所要時間 約50分)

- 「横44」系統・「戸塚駅東口」行き

時	平 日	土 曜	休 日
7	25	51	51
8	01 36	54	54
9	06 40	56	56
10	37	59	59
11	07 37	59	59
12	07 37	59	59
13	07 37		
14	11 35	01 51	01 51
15	35	49	49
16	11 35	49	49
17	11 35	49	49
18	11 47	49	49

- JR「東戸塚駅」東口より (所要時間 約16分)

- 「東01」系統・「井土ヶ谷下町」行き

時	平 日	土 曜	休 日
6	35 52	33	33
7	00 32 47	08 25 58	06 47
8	05 27 56	13 49	09 59
9	12 54	11 42	19 41
10	34 54	04 31	11 38
11	14 32 54	12 45	11 43
12	12 34 54	19 45	19 43
13	14 42 54	12 48	14 48
14	14 34	12 48	10 46
15	02 14 36 56	16 48	21 46
16	26 56	17 53	14 32
17	08 28 55	17 52	16 47
18	13 31 51	13 52	16 47

- JR「戸塚駅」東口より (所要時間 約23分)

- 「横44」系統・「横浜駅東口」行き
- 「戸45」系統・「桜木町駅前」行き
- 「戸25」系統・「こども医療センター」行き

時	平 日	土 曜	休 日
6	02		
7	07 37	21	21
8	13 42	22	22
9	12 42	22	22
10	12 42	22	22
11	12 42	23	23
12	12 46	23	23
13	10 46	21	21
14	10 46	19	19
15	10 46	19	19
16	10 46	19	19
17	10	19	19
18	19	19	19

# 『こども医療センター』発 バス停の時刻表

平成30年3月24日改正

## 弘明寺駅・横浜駅・井土ヶ谷方面

- 「無印」＝「井土ヶ谷下町」行き
- 「横」＝「横浜駅東口」行き
- 「別」＝「別所中里台経由 井土ヶ谷下町」行き
- 「桜」＝「南区総合庁舎前経由 桜木町駅」行き

時	平日	土曜	休日
5			
6	別 別 20 43 50	別 28 48	別 28 48
7	別 横 別 07 08 16 30 35 48	別 横 13 23 40 41	別 横 別 14 21 41 58
8	別 横 別 横 別 00 00 03 21 24 36 43 50	別 横 別 02 13 28 42 52	横 別 02 24 42 45
9	桜 別 横 別 05 12 13 28 35 58	別 横 04 26 35 42 57	別 横 14 25 34 42 56
10	横 横 横 05 10 35 43 50	別 横 横 15 19 42 46 57	別 横 横 別 14 26 42 53 58
11	横 別 横 05 10 28 30 35 48	横 別 27 43 45	横 別 26 43 46 58
12	横 別 横 別 05 10 13 28 35 50 58	別 横 00 27 34 43	別 横 26 34 43 58
13	横 横 横 別 09 10 30 33 43 58	別 横 00 13 27 44	別 横 14 30 44
14	桜 別 横 09 10 28 30 33 50	別 横 横 別 02 03 27 42 44	別 横 横 別 02 04 26 42 43
15	横 別 横 別 09 13 18 30 33 52 58	別 横 03 30 32 42	別 横 02 28 37 42
16	横 横 横 別 09 12 33 42 43	別 横 横 別 04 19 33 42 57	別 横 横 02 18 30 42 48
17	横 別 横 別 09 12 24 31 44 33 58	別 横 09 33 45 42	別 横 横 03 32 44 42
18	別 横 横 別 11 23 29 42 47 52	別 横 08 25 29 42	別 横 03 32 44 42
19	別 横 横 別 07 21 25 42 42 52	別 横 07 14 27 41	別 横 03 28 32 41
20	別 別 07 20 24 44	別 別 04 07 30 53	別 別 10 11 31 52
21	別 10 24 41	21	20
22	07 51		

## 戸塚駅・東戸塚駅方面

- 「無印」＝「戸塚駅東口」行き
- 「東」＝「東戸塚駅東口」行き

時	平日	土曜	休日
5	57		
6	12 18 24 東 東 36 57	12	12
7	東 東 東 東 14 28 43 56	東 東 東 01 22 55	東 東 東 01 22 53
8	東 東 東 東 13 21 33 46 49 59	東 東 東 12 35 37	東 東 東 12 33 37
9	東 東 東 東 24 29 36 50 54	東 東 東 01 19 39 47	東 東 東 01 37 46
10	東 東 東 東 18 28 56 58	東 東 13 31 44	東 東 10 39 41
11	東 東 25 35 46 55	東 東 13 44 47	東 東 12 38 45
12	東 東 東 16 25 31 55 56	東 東 13 36 47	東 東 12 45 46
13	東 東 東 東 06 25 36 48 55	東 東 12 42 47	東 東 12 40 45
14	東 東 東 16 25 56 59	東 東 17 44 49	東 東 17 44 47
15	東 東 11 23 55	東 東 14 41 51	東 東 15 39 52
16	東 東 東 東 05 06 15 25 28 58	東 東 16 39 47	東 東 19 37 45
17	東 東 01 25 28 57	東 東 15 39 50	東 東 12 37 51
18	東 東 東 東 01 21 25 31 42 55	東 東 東 14 39 45 50	東 東 東 12 37 45 52
19	東 東 東 01 08 20 37 50	東 東 東 13 32 41 59	東 東 14 32 43
20	東 東 東 東 02 07 23 38 54	東 39 43	東 東 07 39 43
21	東 07 28	東 02 25	東 東 07 39
22	東 14		

## 駐車場の利用

### 駐車料金

利用区分	料 金
診療等を受ける方 診療等を受ける方のご家族の方	1日1回(※) 200円 (30分まで無料)
上記以外	3時間まで(※) 200円 (30分まで無料) 以後1時間ごとに100円

(※) 第3駐車場については100円

### 外来受診、付き添い及び面会の方

- 外来受診の方は、会計受付又は防災センターに診察券をご提示ください。
- 入院付き添い及び面会の方は、防災センターにお越しください。

### 免除(次の方は会計受付または防災センターへお越しください)

- 1 障害者手帳および電気自動車登録カードを提示した場合
- 2 車椅子、ストレッチャー及びベビーカーをご利用の方
- 3 病院側からご家族の来院をお願いした場合

### 駐車場案内

当センターには第1・第2・第3駐車場があります。日中は警備員が誘導しておりますので、警備員の指示に従い駐車してください。

\*第3駐車場から階段が新設されました。



## 患者・家族滞在施設「リラのいえ」

当センターから徒歩5分のところに「リラのいえ」があります。「リラのいえ」は、患者さんとお家族のための宿泊滞在施設です。経済的な負担を減らし、精神的な支えとなることを願い、認定NPO法人スマイルオブキッズが当センターと協力して管理・運営しています。きょうだい児預かり保育も行っています。



#### ■ 宿泊室：

11室  
(バス・トイレ・エアコン・テレビ・冷蔵庫付)

#### ■ 共有施設：

台所・食堂・洗濯乾燥室・多目的ホール(2室)・事務管理室(24時間ボランティア対応)

〒232-0066 横浜市南区六ツ川 4-1124-2  
TEL 045-824-6014

[www.lilanoie.jp](http://www.lilanoie.jp)

宿泊料金(1泊)	料 金
患児	無 料
付き添い家族(1人まで)	1,500円
付き添い家族(2人目からは1人につき)	1,000円
小学生	500円
未就学児	無 料